

た ま が わ

～ 1 年 間 を 振 り 返 っ て ～

さらなる団結強化にむけて

新鮮な気持ちでスタートするには余りにも非道な仕打ちと感じたあの日からの一年を振り返ってみました。

山積みの段ボールで動きのとれない執務スペースには空調設備は無くサウナ状態、中古の机はへこんでいて鍵がかかりませんでした。

パソコンやプリンターの設定にも時間がかかり、顧客対応に支障を来たしなからの船出でとなりました。

日常の業務においては、新たなロードとしてデイリー精算や e-JIBAI 等の代理店業務が課せられ慣れるまで苦労しましたが、組合員どうして連絡を取り解決していきました。

さらに処遇面も大きく変わり、職種変更者を含む全従業員と同じ制度へ一本化されました。

元原告は歩合給から役割給へと給与システムを移行し、役割チャレンジ制度という名のもとで行動特性や思考特性、業績を評価される人事考課が始まりました。また、シニア社員は時給制へと移行しました。

一方で組合活動も変化の一年でした。

東銀座ビルに組合室を開局しての執行委員会。これまでの裁判闘争中心の活動から処遇改善のたたかいへと課題も変化しました。

春闘要求も今までとは変わり、業績賞与の矛盾点という課題について会社を質し、問題意識をもって今後も取り組んでいくこととしました。

あっという間の一年でしたが、仲間と情報を共有して納得いくまで話し合うことの重要性を実感しました。今後も組合に結集し全組合員が一枚岩になっていることが様々な問題解決の王道だと確信した一年でした。